

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・依頼案件が増えている。
		その他専門店 〔靴小売業〕 （経営者）	来客数の動き	・今月は来客数が確保できた店や新たな販売のキーワードやヒントが見つけれられた月になっている。客の要望を捉えられる情報が入手できるか、また、速やかに対応していく仕組みをいかに作るかが大きな課題になる。店舗ごとに情報を得て、実践する人材を育てなければならない。この情報化時代では、既存概念を突破しなければならない。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・一時的な現象の可能性もあるが、来客数が増えている。景気が少し上向き始めたのかもかもしれない。
		テーマパーク （職員）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの反動減を想定していたが、団体の動きが活発化し、来園客が微増している。
		設計事務所（所長）	それ以外	・業界の動きは変わらないようだが、改元により、全体的に景気が良くなっている印象である。
		商店街（代表者）	それ以外	・商店街に肉屋がオープンし、連日大にぎわいである。総菜も扱っているのが、主婦が中心のようである。商店街のにぎわいが出てきている。
		一般小売店〔精肉〕 （経営者）	お客様の様子	・梅雨の頃だが、各種団体の総会等で外に出る機会が皆さん多いようである。それに合わせて小旅行に行く方も多い。その分、地元での消費は控え目になる。
		百貨店（役員）	来客数の動き	・前月は好調だった来客数、売上が、今月に入り足踏み状態となっている。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・テナント閉店の影響を除いた既存店の比較でも、来客数が3%下落しており、力強さを感じない。
		スーパー（商品部担当）	単価の動き	・前月同様、客単価の落ち込みが続いている。特に、夕方以降の落ち込みが大きい。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数は前年比98.8%と9人減である。客単価は同103%、売上の同101%と共に微増で、ほぼ横ばい状態である。
		乗用車販売店 （経営者）	お客様の様子	・売上、販売台数等が4月あたりから余り変わらず、例年と同じようである。諸経費が上昇しているのに横ばいはづらい。努力不足なのだろうか。
		乗用車販売店 （販売担当）	お客様の様子	・毎年のことだが、今年は特にゴールデンウィークが10連休で、観光地はものすごくにぎわいを見せていた。その反動だと思うが、6月に入って、売店、食堂、ホテルのオーナー、支配人たちから、「とにかく、今月の冷え込みがひどい」という話を聞いている。車の販売、乗換えには全くつながらない状態で、余り良くない。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・売上の良しあしが日ごとにはっきりしているものの、月の売上、来客数は変わらない。近隣に競合店が3店舗もオープンしたが、むしろ人が集まって来ているのか、来客数は変わらず、新規客が増えている。ボーナス時期でもあり、宣伝広告の効果が出始めている。
		その他飲食〔給食・レストラン〕 （総務）	お客様の様子	・海外情勢や老後の生活設計など不安材料は多いものの、景気に影響が出るころまではきていないのではないかと。むしろ、年齢構成の変化に伴うニーズの変化に適切に対応していくことが求められている。
		都市型ホテル （副支配人）	販売量の動き	・4～5月に比べると勢いはないが、しっかりと売上を維持できている。インパウンドやインターネット予約で稼働が確保できているのが大きい。
		都市型ホテル （営業）	来客数の動き	・6月中旬、近隣に約190室保有のホテルが新規オープンした。宿泊需要は、やや増加しているが、ライバルがオープンしたため、厳しい状況にある。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・ゴールデンウィークと夏季の間で、動きが鈍い。大型観光キャンペーンの最終月の盛り上がりとしては弱い。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼の動きが少し良くなり、前年同月より3%の増収である。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・引き続き、販売量は低迷を極め、受注見込みも少ない。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・不動産関連の住宅着工件数も、前年と大きく変化がない。	

	競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、ほぼ変化がみられない。
	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・建設業者や同業者に限っては、公共事業等もあり、忙しさは変わっていない。消費税増税前の駆け込み需要も若干影響している。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・現状、賃貸のアパート、マンションは、かなり動きが鈍っている。ただ、アパート1棟丸買いなど土地の投資物件は、引き合いがかなり増えている感じがする。飽くまでも投資物件のみで、店舗については、ほとんど引き合いがない。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・特にお年寄りの動きが鈍い。例の年金問題で、皆かなりナーバスになっている。
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・訴求に対するレスポンスが非常に悪い。集客や売上増に向け、いろいろと施策を講じて、反応が鈍い。5月の連休以降は来客数、売上共に苦戦している。
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・前年に比べて降雨日が多く、来客数が落ちている。3か月前の前年比でも良くない。お中元期の最中だが、来店を促すきっかけとしては、年々弱くなってきている。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣で目立った大きなイベント等がなかったことや全体的な行事もないこと、さらに、天候不良が重なり、来客数が減っている。
	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・とにかく人が出てこない。どうしたのかというくらい、人の流れというか、来客数が激減している。それこそ、打つ手は全て打っていると思うが、まだ何か足りないのかというくらい、かなりひどい状況である。
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・売上、来客数共に、前年より停滞している。
	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク明け以降、来客数減少が続いている。消費税増税が予定どおり実施される見通しで、その対策報道が多くなっていること、食品を中心とした値上げが顕在化してきていること、それらが複合して、客の来店回数、買上点数の減少を招いている。
	その他専門店〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・販売量が落ち込んできている。
	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・法人や永年勤続などの福利厚生利用、OB会の規模縮小や取りやめなどで、やや悪くなっている。
	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・ビジネスホテルを3棟運営しているが、特に2棟の稼働が、少し伸び悩んでいる。月によって変動があり、例年良くても今年度は悪くなることもあり、3か月前と比べて稼働が少し落ち、やや悪くなっている。
	旅行代理店（経営者）	単価の動き	・カウンターでは、夏の高額商材が敬遠されている。
	タクシー（役員）	お客様の様子	・完全な人手不足である。
	通信会社（社員）	販売量の動き	・売上獲得が伸びず、営業委託の撤退が発生している。
	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・通話料金との分離により、端末価格が高くなったと感じる客が多い。
	ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・来場者数は4月2,673名で前年比マイナス177名、5月4,136名、同プラス236名である。6月の見込みは2,664名で同マイナス336名である。累計でも前年比減少で、景気が良いとはいえない。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・これまではフリー客も受入れ可能だったが、スタッフ数が減少したため、完全予約制としたことで、やや悪くなっている。売上減少分で人件費が抑制されるとしても、純利益率の減少は避けられない。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・整備内容にこだわらず、価格の安さのみを優先する客が、3か月前より増加傾向にある。
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・5月の連休以降、動きが鈍くなっているように感じる。販売量の停滞は変わらないが、状況は暗い。
×	タクシー運転手	お客様の様子	・連休後は特に、ビジネスやプライベート共に、タクシーの利用客が減っている。駅で降りて、レンタカー会社に直行する人が多い。景気の良いときは会社から、事故に遭わないようタクシー利用を指示されていたが、一番最初の経費削減はタクシー代のように、売上は落ちる一方である。

企業 動向 関連  (北関東)		金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・販売量が、2～3か月安定している。	
		輸送用機械器具 製造業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・自動車メーカーの米国向け輸出が、90か月連続で前年同月 を超えている。	
		化学工業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・受注量の波はあるが、多少増加傾向にある。ただし、確実に 上向いているとはいえない。	
		窯業・土石製品 製造業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・特別好調ではないが、堅調に推移している。	
		金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・主要取引先の受注数は高原状態を維持している。飛び込み の注文は、やや減っている。	
		輸送用機械器具 製造業(経営 者)	取引先の様子	・取引先、受注価格、販売の動き等は、この2～3か月は余 り変わらない。	
		輸送業(営業担 当)	取引先の様子	・季節商材のエアコン、扇風機、夏物寝具等、インターネット 通販向けの輸送は伸びたが、全体的には前年並みの輸送量 である。	
		不動産業(管理 担当)	受注価格や販売 価格の動き	・当社で管理受託をしている建物の清掃契約が、今年度より 他社から当社への直接請負契約に変更になった。ただし、受 注金額は従来より安い契約となり、売上増の割に利益が少な い。その他管理物件も、契約縮小などによって、売上、利益 共に減少し、全体の売上は増えたが、利益は減少してしまっ ている。	
		その他サービ ス[情報サー ビス](経営者)	受注量や販売量 の動き	・商談件数や受注量に、特段の変化はみられない。	
		電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・取扱業種は、医療器、船舶等いろいろやっているが、全般 的に受注が1～2割減っている。	
		その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量 の動き	・今年の梅雨は曇りや雨が多過ぎる。	
		建設業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・仕事量が少ない。同業他社の話を聞いても少ないとの話で ある。	
		不動産業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・春の入退居も落ち着き、時期的に受注量が減少している。	
		社会保険労務士	取引先の様子	・貿易摩擦の影響が、輸出関連の事業所で受注に始まってき ているようである。	
		×	一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・今月に入り受注が前年同月比25%減と、急激に落ち込み始 めている。
		×	電気機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・取引先の新機種並びにモデルチェンジ等が遅延している。
	×	建設業(開発担 当)	受注量や販売量 の動き	・公共工事主体で売上の95%を占めている建設業を営んで いる。現政権誕生後、公共工事は順調に推移している。ただ し、今期は厳しい。発注額が前期比24%減で、特に、地方業 者に一番影響がある県関係が前年比14%減で、市町村関係で は前年比の42%と、今まで経験したことのない発注減であ る。当社決算は前期分の発注なので、今のところ心配はない が、次年度決算が大変心配である。	
	×	広告代理店(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・消費税増税前のマインド低下は尋常ではない。広告受注が 前年同月と比べ2割も落ちている。	
雇用 関連  (北関東)		-	-	-	
		人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・製造業関係は、特段、求人募集はない。依然として、福 祉、看護、介護等の募集はある。全般的な周辺の様子は、住 宅の増改築等や県単位の話かもしれないが、公共事業関係 は、ずっと堅調に推移していくのではないかと。ガソリン価格 が若干上がったものの、小売関係はお中元を前に、商材等の 充実と販売促進に努めていて、活気がある。	
		人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・当社の主要な取引先は、ホテル、宿泊施設である。個人客 は余り多くないので、個人の状況は分からないが、取引先の 稼働率が前年とほぼ横ばいで変わりなく、収益は上がってい るようで、余り変化がないという感触である。	
		人材派遣会社 (管理担当)	採用者数の動き	・採用数に変化はなく、下げ止まりの状態と考えている。	

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数、有効求職者の3か月前及び前年同月期を見ても、ほぼ変わらない。有効求人倍率は2月以降、多少減少傾向となっているが、前年同様の傾向である。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年に比べて、求人数に大幅な動きはなく、むしろやや減少しているため、景気も一段落したのではないかと感じている。
	学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・全国的な求人倍率には届かないものの、当県全体では前年度を上回る求人倍率となっている。
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・派遣先の会社から人を引き取ってほしいという話はしばらくなかったが、今月、15人くらい引き取ってほしいという話が入ってきている。少し景気が悪くなっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業からの新規求人申込みが減少している。運輸、郵便業等の一部で、増加している新規求人があるものの、産業全体としては求人数が減少している。
x	-	-	-